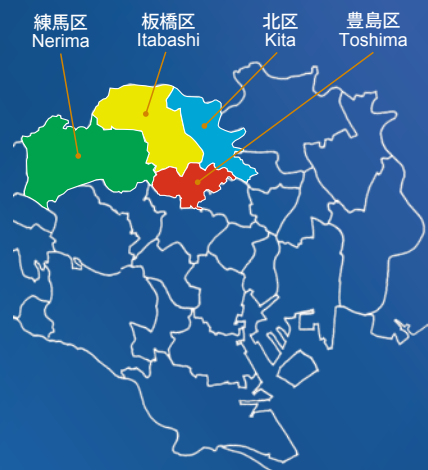


私たちは、豊島・練馬・板橋・北区の4区とその周辺からなる城北地域でその特性を活かしたまちづくり活動を展開する地域会です。公益社団法人・日本建築家協会の地域グループの一つです。

4つの区域をまたぐ活動の特性として、私たちは“地域をつなぐもの”に注目をしています。河川域、街道筋、台地と崖線、商店筋などです。これら地形や歴史を切り口に、まち歩きや意見交換会を通して、地域の成り立ち、課題や改善について議論と検証、提案を重ねていきます。また、会員がそれぞれのまちで実践する“まちづくり活動”を持ち寄り、情報の交換を通じて、更なる方法の開発、展開に取り組んでおります。

地域活動は、文化や社会を基礎とする幅広く多様な内容と変化への可能性に満ちています。どなたでも発言や行動ができる日常の視点が尊重されます。お互いに伝え学ぶこともできます。地域の皆さまに私たちの活動を知っていただきたく、また、こうした活動にご参加いただきたく、ご案内いたします。



お問い合わせ先

公益社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2-3-18 JIA 館
Tel : 03-3408-8291 Fax : 03-3408-8294
<http://www.jia-kanto.org/members>



▶ 城北地域をつなぐもの

河川域

石神井川や白子川、新河岸川など荒川水系の河川と千川上水があります。西から東に流れるこれらの流路は、農耕や飲料だけでなく地域の産業の発展にも大きな役割を担ってきました。また、河川に向っての土地の傾斜は変化にとんだ景観を生み出しています。

街道

古くは中世の鎌倉古道の痕跡が残る城北地域を横断する街道は地域の交通のネットワークを構成し、地域の交流において重要な役割を担ってきました。このネットワークを往還したものは、人や物だけでなく文化や情報など城北地域の発展に大切な物でした。

台地の崖線

武蔵野台地上の練馬区から板橋区にかけて東西、北区から豊島区では南北に崖線が見られます。台地と低地をつなぐ崖線は坂道や斜面緑地など特色ある景観を創っています。また、崖線沿いに多く残る湧水は昔の景勝地の面影と、希少生物の存在につながっています。

商店街

魅力ある町には、永く地域に根づいた元気な商店街が多く見られます。まさに城北地域の元気をを感じる場所です。

赤羽台・桐ヶ丘団地

建築史上特筆すべき団地の再生。歴史的な背景のみならず、諸先輩達が残してくれた叡智の結晶からのメッセージを読み取る。

10 地域資産の保存と活用

加賀前田藩から始まる軍都の歴史。その道をつくった石神井川に沿って、新しい地域の資産として活用される旧陸軍関連施設を訪ねる。

王子・巣鴨地蔵通り

明治期以降の産業の発達が現在の城北地域の特色を方向付け、活気ある商店街の賑わいは城北地域の未来を感じさせるもの。

7 旧古河庭園・霜降・染井

当時の富とエネルギー（国勢）の象徴であった旧古河邸とその庭園。現在のエネルギー（活力）を感じられる霜降銀座・染井銀座商店街。

雑司ヶ谷・鬼子母神界限

法明寺鬼子母神堂や宣教師館。都電の走る景としての城北地域。街のスケールをカラダに感じて、街の音をココロに感じて。

谷中界限

「たいとう歴史都市研究会」の方々に同行解説として頂き、保全活用や支援活動の歴史を通しての谷中の魅力と体験。

みどり豊かな道路

千川上水と旧谷端川の流路をたどり街の歴史に思いを馳せながら地域をつなぐ「街路（街道）」について、緑の視点から検証。

目白の地域資産とまちづくり

目白にある歴史的・景観的な地域資産を、回遊路として巡ることによって広がりや物語性のある「まとまった地域資産」となる。

城南住宅と常盤台

1920年代頃、ほぼ同時期に街の歴史が始まった両地区。城北地域を代表する良好な住環境をまわりの視点で堪能。

サンシティと板橋の崖線

緑豊かな集合住宅・サンシティと崖線沿いの不思議な魅力に満ちた街区。人が集まって住むことの魅力やコミュニティについて考える。

12 体験農園と憩いの森と白子川

白子川の原風景に思いを馳せながら、都市の緑を考える。新しい制度を創出し、地域の魅力を次世代に繋げる工夫を再認識。

石神井地区

石神井川上流域の川沿いの景観や石神井公園三寶寺池周辺に残る自然。それと対比する駅周辺の開発から街の未来を考える。

▶ JIA 城北の活動のあゆみ

